

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 安定電荷分離状態を利用した電荷・励起子制御技術の実現
2. 研究代表者： 嘉部 量太（沖縄科学技術大学院大学 有機光エレクトロニクスユニット 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題では、励起子を安定化し、超長寿命化することによってその外部制御を可能とし、有機蓄光や光刺激発光材料をはじめとする新しい光機能デバイスの創出を目指している。

フェーズ1では、ドナー、アクセプター、トラップ分子のエネルギー準位や濃度等を工夫することで、安定電荷分離状態の形成に成功している。また、光刺激発光システムの構築にも成功しており、順調に研究が進捗していると言える。世界的にもオリジナリティの高い研究である。

フェーズ2では、安定電荷分離状態のメカニズムの解明や応用面の発展など、研究成果に基づいて幅広く研究を発展させる計画であり、今後の展開が期待される。無機材料とのハイブリッド化についても、本系の特長を活かしつつ研究を進めて欲しい。

以上